

単元の学習に入る前に… その1

単元目標を達成した子どもの姿 (ゴール) を明確にする

〇〇小学校 3年生 算数「分数」単元計画

◇単元目標 分数の意味と表し方について理解し、単位分数を用いて分数の大きさや分数の加法及び減法の仕方を考え、生活などに生かすことができる。



まず、新しい単元に入る前に単元目標を確認し、ゴールを具体的にイメージしましょう。

はい、「基になる大きさを等分したうちの幾つ分」という分数の意味を理解して、そのことを活用しながら大きさ比べや加減計算をしている姿をゴールとしてイメージしました。



単元終末の子どもの姿が見えてきましたね。このようにゴールを具体的にイメージして単元計画を見ていくことで、単元全体の流れや各単位時間のつながりをつかむことができます。今回は1時間目から順に単元の流れをつかむ方法ではなく、視点を変えて、ゴールからさかのぼって単元を見てみましょう。

単元の学習に入る前に… その2

ゴールから逆算して単元の流れをつかむ

1時間目は、分数の意味と表し方を理解するスタートの時間だから「基になる大きさ」を等分する体験的な活動を取り入れて、実感を伴って理解できるように工夫しているな。3等分、5等分なども体験させて関心を高められるようにしよう。

そのために…

4時間目の「分数の大きさ」では、テープの長さを数直線にうつして分数の大小を比べさせ、意味理解を深めているな。リットルますを使って操作活動を取り入れれば、さらに実感を伴った理解にしていけるな。それには、もう1時間必要な。

そのために…

8時間目の「分数の減法」では、分数の意味や図、式などを活用して計算の仕方を考えさせているな。つまり、加減計算の学習までに意味理解の定着を図る必要があるな。「なぜ各単位時間でこの学習をするのか」を考えながら、さらに単元計画をさかのぼってみよう。

そのために…

ゴール

「基になる大きさを等分したうちの幾つ分」という分数の意味を理解して、そのことを活用しながら大きさ比べや加減計算をしている姿

◇単元計画 (全10時間)

時	ねらい	学習活動	評価項目
1	分数の意味と表し方を理解し、関心をもつ。	1 mの紙テープを折って4等分し、その1つ分を $\frac{1}{4}$ mということを知る。	測定したときの量の大きさを表す分数の意味と表し方を知り、そのよさを考えようとしている。【関意態】
4	単位分数を基にした分数の大きさを理解する。	$\frac{1}{5}$ m、 $\frac{2}{5}$ m…を数直線に表す。分母と分子が同じ数のときは1になることを知る。	単位分数を基にした分数の表し方を理解している。また、分母と分子が同じ数のときは1になることを理解している。【知理】
6	簡単な分数の加法計算を考え、活用する。	和が1までの同分母の真分数同士の加法計算の仕方を考える。	加法の計算の仕方を分数の意味を基に図や式などを用いて考えている。【考え方】
7		和が1になる加法計算の仕方を考える。	
8	簡単な分数の減法計算を考え、活用する。	同分母の真分数同士の減法計算の仕方を考える。	減法の計算の仕方を分数の意味を基に図や式などを用いて考えている。【考え方】
10	基本的な学習内容の理解を確認し、定着を図る。	練習問題を解いたり分数ものさしで長さを測ったりして、単元のまとめをする。	分数を用いるよさに気づき、活用しようとしている。【関意態】 同分母の真分数同士の計算の仕方を理解している。【知理】

ゴールからさかのぼって見ることで、段階的にゴールに向かう流れになっていることや各単位時間のつながり、1単位時間の位置付けがよく分かりました。

単元の学習に入ってからこんな活用を…

ゴールや各単位時間のつながりを踏まえて授業をイメージする



1単位時間の授業づくりでは、ゴールや各単位時間相互のつながりを踏まえて、本時のねらい、学習活動、手立てを具体化することが重要です。単元計画の6時間目「分数の加法」の授業をどのようにイメージしますか？

本時のねらいを達成した姿を、「前時までに学習した『単位分数の幾つ分』という分数の意味理解を基に、加法の計算の仕方を考えている」とすることができると思います。具体的には、図や式を活用して考えさせ、「 $\frac{1}{5} + \frac{2}{5} = \frac{3}{5}$ 、理由は $\frac{1}{5}$ を基にすると $1 + 2 = 3$ 、 $\frac{1}{5}$ が3つで $\frac{3}{5}$ 」と説明させたいです。ここでは、4時間目の「数直線」が、計算の仕方を考える際に使えそうです。



ゴール・単元の流れ・各単位時間のつながりを十分理解して授業の充実に努めましょう。